

* 令和3年度 経営発達支援計画評価報告書 総合評価

項 目	評 価					コメント	総合評価
I. 経営発達支援事業の内容						○伴走型支援のプロセスの精度をさらに高め、窓口相談や巡回指導の回数を増やし小規模事業者に対して、質の高い効果的な支援を行うことができた。 ○「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業」について、新型コロナウイルス感染症の影響により目標が未達成だった。	B
1. 地域の経済動向調査に関すること	A	B	C	D	E		
2. 経営状況の分析に関すること	A	B	C	D	E		
3. 事業計画の策定支援に関すること	A	B	C	D	E		
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	A	B	C	D	E		
5. 需要動向調査に関すること	A	B	C	D	E		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	A	B	C	D	E		
II. 地域経済の活性化に資する取						○新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントを一切開催できなかったが、新たなイベントやアフターコロナを見据えた支援策について検討を行った。	B
7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること	A	B	C	D	E		
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組						○令和4年度は、PDCAサイクルによる伴走型支援の管理レベルや事業の評価及び見直しの質を高め、さらなる職員の資質向上を図り、経営発達支援事業及び伴走型支援のレベルアップを目指す。	B
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	A	B	C	D	E		
9. 経営指導員等の資質向上等に関すること	A	B	C	D	E		
10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	A	B	C	D	E		

【評価について】 A: 目標を達成することができた。(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた。(80%~99%) C: 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満) E: 未実施